

菜の花とナタネはどうちがうの？

菜の花(ナノハナ) [別名 切花用はハナナ、野菜用はナバナ]

菜の花(ナノハナ 菜花)は「菜類の花」を意味する総称でアブラナ(油菜)やその仲間の冬野菜(アブラナ・ハクサイ・カブ・コマツナ・ノザワナなど野菜の花や、カラシ・キャベツ類も菜の花と呼ばれる)が春になって莖が伸び、莖先に4枚の花弁が十字型の黄色の小花を咲かせ、「菜の花」と呼ばれます。

菜の花は観賞用の切花や野菜として栽培されます。また、蜜を取るための植物であり、養蜂家はアブラナ類の花を追って九州から北上して花蜜を求めます。なお、現在の菜の花(ハナナ)はチリメンハクサイから改良されたものです。



ナタネは菜類の種子

ナタネは古くから俳句や唱歌で親しまれていますが、ナタネという植物は存在せず、アブラナやセイヨウアブラナの中の搾油用の子実を利用する作物の総称です。

★グリーンパークの菜の花の品種は金木花菜(カナキハナナ)で、開花の予定は3月半ばです。

★利休忌(旧暦の2月28日)

茶の湯の利休は菜の花を好み、自刃(じじん)のときも菜の花を生けました。今日でも、利休忌にしばしば菜の花が供えられます。

今回号の話題

如月(きさらぎ)によせて～梅のはな～

東風吹かば にほひおこせよ 梅の花
あるじなしとて 春なわすれそ 菅原道真



早春に花を咲かせる梅はおめでたい木として古くから愛されています。学問の神様で有名な道真公もそのひとり。幼い頃からほほを寄せて花を愛でたそうです。

藤原氏の陰謀によ

って大宰府へ左遷する際、上記の歌を詠み慣れ親しんだ梅の花に別れを告げました。この梅は大変道真を慕っていたので、後を追って一夜のうちに飛んでいき、花を咲かせました。この飛梅伝説はあまりにも有名です。

今年も梅の花は、春を忘れずに香るでしょうか。

ハーブを知る

2回目



美しく咲くバラの花。このバラもハーブの1つに数えられます。花も果実も活用でき、果実を「ローズヒップ」と呼んでいます。お茶にすれば天然のビタミンCの補給源となります。中でもノイバラは更にビタミンが豊富で、「ビタミンの爆弾」と呼ばれるほどです。



ハガキの木? 占いの木?

タラヨウ (モチノキ科・常緑高木)

タラヨウの葉の裏側に先の硬い物で字や絵をかく事ができます。昔、ハガキの代わりに使っていた・・・?

また、この木の葉を火にあぶり、出てきた模様を見て吉凶を占ったそうです。



植物漢字クイズ

～なんと読むのでしょうか～

今回のお題

「疼木」

ヒント:節分に悪鬼払いとして使います

